

で気温は15度以上あったと思う。越冬前の新鮮な個体で、飛翔はとても緩やかであり、よほど近接しない限り飛び立たず、逃げてみてもすぐ近くに静止した。標本は私が保存している。当時撮影した写真はインセクトリウムVOL28, No.1(1991)の表紙に掲載されている。

4・6・1995 1♂ 神戸市中央区諏訪山公園

前回と全く同じ場所で新鮮な雄、当日は晴天で飛来した時刻は12時、気温は25度を超過しており活動が活発でネットするのがようやくであった。標本は私が保存。なお諏訪山公園にはイヌビワが豊富にあるので幼虫の調査を数回試みたが発見できなかった。

(YAMAGUCHI FUKUO 神戸市須磨区神ノ谷3丁目6-4)

---

## アオドウガネの食草についての

### 報告(統報その5)

新家 勝

アオドウガネも雑多な植物の葉や花を食べるので、興味を持ち、これまでに12種の食草を本誌で報告したが、今年(1995年8~9月)は、宝塚市光明町の自宅でタニウツギの葉を食べていたのと宝塚市美幸町でトウネズミモチの葉を食べていたのを目撃したので報告する。

(NIINOMI MASARU 宝塚市光明町8番57号)

---

## ヒロヘリアオイラガ幼虫の

### 食樹についての報告

新家 勝

ヒロヘリアオイラガが阪神間で大発生して話題になったのは、1984年頃だったと記憶する。日本産蛾類大図鑑(講談社 20, Sept. 1982)には、「従来、鹿児島市内だけで採集されていたものが、1979年ごろから大阪や西宮の市街地および北九州

で急に発生したもので、東海地方まで北上している」とあり、「幼虫は、サクラその他いろいろな樹木の葉を食べており、海外では昔からかなりの雑食性であることが知られていた」と記されている。1984年に宝塚市美座二丁目の自宅でも発生し、これまでからいるアオイラガの食べるヤナギ類やカキなどではなく、ツバキ、エノキ、ハナスオウの葉を食べていた。雑食性と聞いていたので、食樹の種類を調べてみようと思ったが、その後、自宅での発生はなくそのままになっていた。今年(1995年8~10月)、宝塚市光明町の自宅とその付近で、多数発生し、サクラ、ボケ、イロハモミジ、ナラガシワ、アベリア、タニウツギ、ヤマボウシ、カキの葉を食べているのを目撃した。

限られた地域での観察結果であるが、前記11種の植物が食樹となったことを報告する。また、今後とも注意して観察し、さらに多くの食樹を確かめたい。

(NIINOMI MASARU 宝塚市光明町8番57号)

---

## ホシミスジの分布拡大例

永幡嘉之

ホシミスジ *Neptis pryeri* は、兵庫県南部において比較的近年に分布を拡大した種としてよく知られている。都市部やその周辺では、庭木としてよく利用されるユキヤナギ、シジミバナ、コデマリなどを食樹としている。本種が、本来分布していなかった小さな谷間に分布を広げる様子を実際に観察したので報告する。

観察したのは兵庫県三木市大村である。この蝶相については過去に筆者が報告したことがあるが、長さ2kmほどの浅く小さな谷の奥に、金剛寺というお寺がある(1)。そこには多くのユキヤナギやシモツケが食栽されているにもかかわらず、1984年から1990年まで7年間住んでいた間に、本種を目撃したことは一度もなかった。この谷の入